

誇り高く 楽しく リズミカルに

2021年度 白葉会会長 堀 里苗 (39回生)

白葉会（はくようかい）は、諏訪二葉高校バレー部のOG会です。その歴史は古く、2017年12月には白葉会発足50周年記念のパーティーを開催しました。会の主な活動は、諏訪二葉高校現役バレー部の応援として「励ます会」を行うことや、年に1度の白葉会総会を開催、またクラブカップ大会や諏訪湖周辺9人制大会に参加すること等で、バレーボールを楽しみながらいい汗を流しています。



クラブカップバレー全国大会 2017

私が高校生の時（昭和59年頃）の顧問は、笠原浩先生でした。当時の私たちは、自分たちの練習後、クラブカップ全国大会などで活躍していた先輩方の練習にも参加したことをよく覚えています。

私は大学を卒業して地元に戻り、白葉会の練習に参加し始めました。高校時代には全国大会への切符を手に入れることができなかったのですが、OGとなつてからはクラブカップ全国大会出場を目標に、9人制バレーを一から故原敏先生にご指導いただきました。原敏先生は、二葉高校教員時代に教頭先生をされていたました。かつて二葉のバレー部が全国大会常連だった頃、故立石巖先生とは名コンビだったと聞いています。原敏先生のもとで練習を始めてから6年、やっとクラブカップで全国大会への切符を手にすることができました。それから千歳、青森、大阪、鳥取、島根、岐阜、長野など幾度と全国大会出場を果たしてきましたが、仕事、出産子育てをしながら練習を

重ねてきたことも、今となってはいい思い出です。原敏先生の教えはバレーボールだけでなく、人として成長させていただくことばかりでした。そして、その時の白葉会会長のバリさん、キスさんをはじめとする歴代会長の皆さんに、とても支えていただきました。ですから、私もこの年になった今、白葉会活動の支援、そして二葉高校現役バレー部の応援、激励に少しでも力になればと思います。役員のみなさんと力を合わせています。現在は、高校時代の恩師、笠原浩先生が白葉会の監督をしてくださっていますが、卒業から三十数年経った今も、当時の恩師や仲間と共にバレーボールを楽しめることが幸せだと感じております。かつてからの原敏先生の教えである「誇り高く楽しく リズミカルに」という motto は今も変わらず！ 2017年には久しぶりにクラブカップ全国大会へ出場することができました。現役生と共に、今後もバレーボールを楽しんでいきたいと思っています。

東京支部の皆様

白葉会会長によりますと、現在の会員数は約500名、その中で長野県外在住の会員は124名とのこと。名簿には昭和15年卒業の方もおられ、二葉高校バレーボール部の歴史と、卒業後も続く絆と伝統を感じます。現役時代はピリッと緊張感のある先輩・後輩の関係もOGとなると和気あいあい！関東在住の私も諏訪湖周辺9人制大会に参加させていただいた経験もあり、胸に「二葉」のユニフォームを着ると、足はもつれても気分だけは「あの頃の自分」が蘇ってきます。東京支部の会員の皆様、白葉会の活動に対するメッセージやお問合せ等ございましたら、下記支部アドレスまでお寄せください。現役バレーボール部の応援も大歓迎です。

支部アドレス suwafutaba.tokyo@gmail.com

東京支部 白葉会会員 富井悦子 (39回生)



諏訪二葉高等学校女子排球部創部80周年
白葉会発足50周年記念パーティー (2017、12月)

令和2年度、3年度支部総会の講演講師としてお招きするも、中止となり大変残念ですが、ご講演要旨をご寄稿いただきました。

令和3年
総会
講演

「縄文王国と二葉生の発掘」

尖石縄文考古館前館長 鵜飼幸雄氏

縄文時代の遺跡は北海道から沖縄県まで、日本列島に広く分布している。そうした縄文文化の広がりの中で、茅野市の「縄文のビーナス」が縄文時代最初の国宝に指定されたことで、諏訪地方の縄文文化が日本の縄文文化を代表すると見る人は多いであろう。

諏訪地方には、縄文時代の国宝6件のうち2件、国宝土偶「縄文のビーナス」と「仮面の女神」がある。また、国宝と同格の特別史跡尖石遺跡がある。他にも縄文時代の国指定文化財は重要文化財3件、国登録文化財1件、国史跡6件がある。縄文文化は列島の各地に広がっているが、これだけの縄文文化に関する国指定の文化財を有す地域は他にない。また、それらの文化財と県宝「信州の特色ある縄文土器」など諏訪地方の縄文遺跡出土品を中心に構成される「星降る中部高地の縄文世界」は日本遺産に認定されている。しかしながら、それらの優れた

文化財も、人知れず地中に埋もれていては何の価値もない。これを発掘研究し、世に知らしめる人があつてこそはじめて社会的存在となるのであり、諏訪地方は多くの考古学研究者を輩出した。岡谷市出身の八幡一郎は東京教育大学・上智大学教授で日本考古学協会の委員長を務めた。同じく岡谷市出身で明治大学学長を務めた戸沢充則は藤森栄一の弟子で、日本の旧石器・縄文時代研究を牽引した。諏訪市の藤森栄一は諏訪考古学研究を主宰し、多くの研究者を育てた。尖石遺跡の発掘で縄文集落研究の先駆けをなした茅野市の宮坂英式などが代表的研究者である。

このように諏訪地方は類ない縄文文化の文化財群を有し、また早くから考古学研究が盛んであったことから「縄文王国」と呼ばれる。それだけに縄文遺跡や考古学に関心をもつ中高生も

少なくなく、高校生の部活動による遺跡発掘が行われてきた。

昭和47年、岡谷市にある縄文時代の梨久保遺跡の第六次発掘調査が行われた。岡谷美術考古館学芸員の会田進さん担当で、諏訪考古学研究所の宮坂光昭さんと諏訪二葉の征矢鑑先生が調査員となり、大学一年の私も補助員として参加した。この調査には征矢先生を顧問とする諏訪二葉地歴部の皆さん20名程が合宿参加し、地表下約1mの深さに縄文中期の竪穴住居址を掘り当てた。諏訪二葉の発掘後も梨久保遺跡の調査は続き、昭和59年に、梨久保遺跡は縄文時代の集落遺跡として重要性が認められ国史跡に指定された。



前列右から2人目が征矢先生、後列右から4人目が筆者

昭和21年から27年にかけて、終戦後の諏訪地方で最初に行われた与助尾根遺跡の発掘の主力は各高校の地歴部員であった。二葉の先輩方も参加しておられ、尖石縄文考古館に当時の参加者の写真が残されている。恐らく諏訪二葉地歴部の創設期の方々であろう。与助尾根遺跡の発掘は戦後の物資不足で行われたにも関わらず多くの成果を得、同時に諏訪地方高校生の遺跡発掘の原点でもあった。以来、諏訪地方の遺跡発掘は高校地歴部の参加があつて進められてきた。昭和47年の二葉地歴部の梨久保遺跡の発掘もそうした伝統を継ぐものであったと思われる。二葉地歴部の活動はその後も盛んで、遺跡発掘への参加は昭和50年代半ばまで続いたと記憶している。今日、縄文王国と称される諏訪地方の遺跡発掘研究史の一断面に、諏訪二葉をはじめとする高校地歴部の盛んな活動を見ることが出来る。コロナ禍が終息したら、郷里の「星降る中部高地の縄文世界」や同窓生の発掘した縄文遺跡を訪ねてみてはいかがでしょう。

【講師略歴】 1954年茅野市生まれ。立正大学文学部史学科考古学専攻卒業。1976年茅野市役所入庁。縄文のビーナスの発掘と国宝指定、市史編纂、尖石遺跡の整備、考古館の運営などに携わる。現在は文化財課の嘱託職員。茅野市永明中学校庭遺跡を調査担当。日本考古学協会会員、長野県考古学会会員、茅野市文化財審議委員会委員。著書『国宝土偶「縄文ビーナス」の誕生・棚畑遺跡』（新泉社）。奥様とお嬢様二人は、諏訪二葉高校の同窓生。



傘寿の皆様からのお手紙

総会は中止となりましたが、高校12回生の皆様に傘寿祝いの記念品をお贈りしたところ、温かいお手紙をいただきましたので、ご紹介いたします。

◎ 秋田中子 様 (代表幹事)

本部の皆様大変な時にいろいろお心遣いありがとうございます。ございました。総会でお祝いしていただけです。と「元気で頑張りましょうね!!」そして会費も毎年払ってくださいますね」と同期会の折にはいつも話していただいたのに、残念なことですが、私の人生の中では、高校時代はもっと面白かった時でした。三つの校訓も今も大切にしています。「校章をつける」という校則もなく、それが誇りでした。今後も二葉高校同窓会のますますのご発展を祈念しております。

◎ 伊藤一枝 様

かわいい花や実で飾られた美しいワックスサシエが私を諏訪の高原に誘ってくれました。お忙しい役員の方々が手作りしてくださった由、恐縮しつつ感謝しております。永く楽しませていただきます。それにしても総会の席で、作られた方々から手渡ししていただけたのがとても残念でした。なお12回生としまして応援の寄付を5月17日に東京支部の郵貯口座にお送りしましたのでお納めください。東京支部の今後ますますのご発展を願いつつ筆を擱かせていただきます。

◎ 菊田 澤 様

「八十」とは遠い数字とっておりましたのに、あっという間に巡ってきて驚いてしまいました。華やかなお便り、美しいお花と香りのキャンドルに感激しております。お心尽くしの花と香りに「八十年」を振り返ってゆつくり楽しみたいと思います。心よりのお礼を申し上げます。

◎ 塩路静枝 様

花の美しいこの時にきれいなカードと手作りのキャンドルをプレゼントしていただき感謝です。私は何も出来ませんでしたし、出席することほとんどありませんでしたが二葉からのお手紙は楽しく読んでおりました。今まで本当にありがとうございました。

◎ 白谷君子 様

風薫る新緑の五月、素敵な可愛らしいサシエが届きました。一昨年から自分たちの傘寿には、みんな元気で同窓会に出席しようと張り切って話し合っていたのに、このコロナ禍で何もかもが駄目になってしまい、本当に残念でした。これで同窓会卒業なんて話を聞き、寂しい様な気がします。私にとって二葉高校生活は青春を謳歌した一時代でした。いつまでも同窓生とつながって行ける様、応援したいと思っています。役員皆様の手によるサシエ大切に飾らせていただきます。コロナ禍の一日も早い収束を願い、皆様のこれからのご健闘をお祈りいたします。

◎ 善治 和子 様

すばらしいプレゼント、誠にありがとうございます。あつという間の八十年、ふりかえってみれば、かぎらない多くの皆様との出会いに感謝いっぱいのだけです。父の転勤で全国を回り、中学三年の時、父のふるさと諏訪へ、そして二葉との出会いから、母校で学んだ女性としての生き方、一人の人間としてのあり方、教えていただいたことが、今の私を支えてくれております。ありがとうございます。

◎ 荒井愛子 様

手づくり記念品ありがとうございます。なつかしい高原の香り、毎日癒されています！
(東京都職員16年)、私40年近くSLCventions(安心と美味・健康 昨年社名変更 旧シユガーレイ)に席をおき、病氣ひとつせず、多くのお客様と接することができた幸せは、3年間の「二葉」でつちかっただ、精神と身体があつたからと思ひ、もうすこし体のうごくかぎり、お客様のお役に立ちたいと思っています。

◎ 野田みね子 様

皆様の心のこもったお祝いの花、ありがとうございます。ました。居間にかざり毎日楽しんでおります。私は相変わらずスイミングクラブへ通っています。もう少し続けようと思っています。

◎ 岡田秀子 様

この度は素敵なメッセージカードとプレゼントを有難うございました。思い出っばいの蓼科のドライブラワーとの事、二葉高校周辺の景色と共に若き日々を懐かしんで居ります。コロナで大変な世の中ですが、皆様のご多幸をお祈り申し上げます。

◎ 竹村弥生 様

コロナ禍で何かと不自由や気分も落ち込む中、この度役員の皆様の手製のプレゼントをお送り下さり本当に「幸せ」でございます。この香りにゆとりある心になれそうです。ありがとうございます。簡単なお礼まで。

◎ 小口靖子 様

本日は傘寿の記念品をありがとうございます。おこころのこもったサシエ甘い心地良い香りに早速飾らせて頂きました。卒業以来何十年とたった今日、こうしてお祝いをして頂け同窓生の絆を強く感じました。皆様のご健勝をお祈りしつつ、まずは御礼を申し上げます。

◎ 武田みどり 様

このたび傘寿を迎えました私共にお心のこもった祝いをお贈り頂き誠に有りがとうございました。コロナ禍の大変な中で私達の為に手作りされた役員の皆様に心より感謝申し上げます。思ひおこせば1960年に故郷を離れ60年余の長き時間を故郷の外で過ごしたことになります。どこに住もうと心の底にあったものは信州であり学舎の二葉であったと思います。懐旧と感謝と共に同窓の皆様のご活躍とご発展を心よりお祈り申し上げます。

◎ 半田昭子 様

この度は懐かしい蓼科高原のワックスサシエをありがとうございます。見る度に懐かしさでいっぱいになります。役員の皆様大変だったでしょう。今年こそ東京支部の同窓会でお会い出来ますように。東京支部の益々の御発展をお祈りしております。